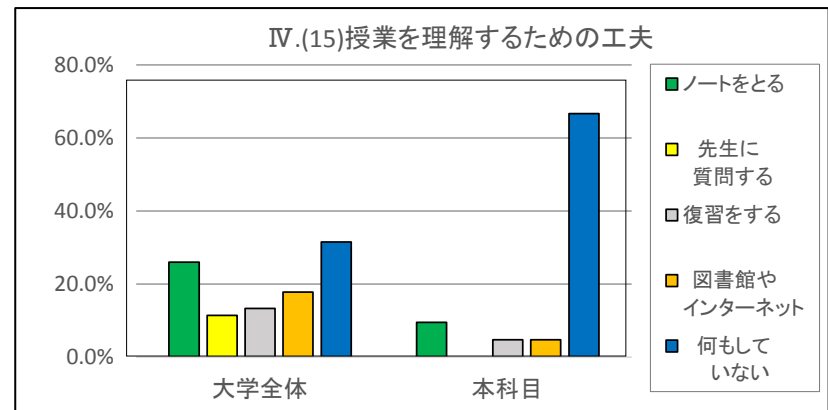


※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	9.5%	0.0%	4.8%	4.8%	66.7%



	設問No.	科目平均	全体平均	
自身の受講姿勢	I.(1)	3.52	3.45	
	I.(2)	3.43	3.56	
	I.(3)	2.90	3.07	
講義内容・方法	II.(4)	2.81	3.01	
	II.(5)			
	II.(6)			
	II.(7)	3.57	3.33	
	II.(8)	3.57	3.42	
	II.(9)	3.57	3.30	
	II.(10)	3.38	3.23	
	II.(11)	3.24	3.21	
	II.(12)	3.52	3.48	
	II.(13)	3.52	3.45	
	満足度	II.(14)	3.38	3.41

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.29	3.36
講義内容・方法 II.(4)~(13)	3.40	3.30
総合的満足度 III.(14)	3.38	3.41

授業年度	2017年度後期
時間割番号	33109
科目名	保育相談支援
教員名	岡村 季光

#### ①授業計画の達成度について

本科目は、当初のシラバス通りにほぼ進められた。さらに、2017年3月に「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が改訂され、今後の子育ての支援についての動向も含め、解説を行った。毎回、授業の最後には小テストを行い、理解の確認を図った。それ故、受講生各自が形成的評価により、自身の理解度を確認し、問題に正答できなかった箇所の復習を行うことができたものと思われる。その結果、今年度は全員が60点以上の評点となり、単位を落とす者はいなかった。形成的評価が効果的に働いたと考えられる。

#### ②授業の進め方について

基本的には、昨年度と同様に冒頭で当該日に行うテーマの概説、その後実際の事例等を用いてグループディスカッションまたはロールプレー、最後に要点の確認を行う小テストという順で授業を行った。また、小テストとともに感想や質問等の記入を求め、次回の冒頭で質問の回答を行った。それにより、質問が活発に出てきて、質問がしやすいという評価も見られた。さらに、昨年度と比べてディスカッションを行う場面も増えたため、活発な意見交流がなされた。

#### ③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

アンケートの評点はおおよそほぼ全体平均に近い値を示している中、質問項目(14)「総合的満足度」は平均をやや下回っていた。各項目で平均的な評価の授業内容では、学生は総合的な満足感を感じられなかったのかもしれない。今後は、より現場の内容を紹介する等、学生の知的好奇心を喚起するような授業内容を目指す。